



2024年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年10月31日
上場取引所 東

上場会社名 日本酸素ホールディングス株式会社
コード番号 4091 URL <https://www.nipponsanso-hd.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 濱田敏彦
問合せ先責任者 (役職名) IR部長 (氏名) 梶山慶太 TEL 03-5788-8512
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年12月1日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	612,571	6.8	81,648	45.3	81,576	51.4	50,438	38.5	48,547	38.1	139,961	46.0
2023年3月期第2四半期	573,699	28.2	56,185	12.7	53,872	8.2	36,422	3.6	35,149	2.5	95,894	143.5

(参考) 税引前四半期利益 2024年3月期第2四半期 71,549百万円(44.1%) 2023年3月期第2四半期 49,641百万円(10.3%)

コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益（非経常項目）を除いて算出しております。

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	112.16	—
2023年3月期第2四半期	81.22	—

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	2,425,994	887,894	852,751	35.2
2023年3月期	2,158,950	757,996	724,314	33.5

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	18.00	—	20.00	38.00
2024年3月期	—	20.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,230,000	3.7	155,000	25.9	163,000	36.4	100,500	32.3	97,000	32.7	224.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

(参考) 税引前利益 通期 139,000百万円(31.7%)

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年3月期2Q	433,092,837株	2023年3月期	433,092,837株
2024年3月期2Q	233,879株	2023年3月期	232,517株
2024年3月期2Q	432,859,727株	2023年3月期2Q	432,770,724株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(全般の概況)

当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日から2023年9月30日まで)における当社グループの事業環境は、ウクライナの地政学的問題、米中貿易摩擦、世界的な物価上昇、円安の進行、主要顧客のひとつである半導体産業の稼働状況などにより、引き続き、先行きを見通すことは困難な状況でした。また、主に鉄鋼、化学、石油精製向けにオンサイトで供給するセパレートガス(酸素、窒素、アルゴン)の出荷数量は、前期比で減少しました。一方、特に欧米で、エネルギーコストは一時期の高値圏に比べ下落基調に入り、セパレートガスの製造原価に多く占める電力コストの負担は前期に比べ緩和されました。また、コスト増加分の販売価格への転嫁等のグループ全体での価格マネジメント、さまざまな生産性向上に取り組みました。

このような状況の下、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上収益6,125億71百万円(前年同期比6.8%増加)、コア営業利益816億48百万円(同45.3%増加)、営業利益815億76百万円(同51.4%増加)、親会社の所有者に帰属する四半期利益485億47百万円(同38.1%増加)となりました。

為替の影響については、期中平均レートが前年同期に比べ、米ドルで135円30銭から142円61銭へと7円31銭(同5.4%円安)、ユーロで139円14銭から154円81銭へと15円67銭(同11.3%円安)となるなど、売上収益は全体で約257億円、コア営業利益は全体で約30億円多く表示されています。

なお、コア営業利益は営業利益から非経常的な要因により発生した損益(事業撤退や縮小から生じる損失等)を除いて算出しております。

(事業別の概況)

セグメント業績は、次のとおりです。

なお、セグメント利益はコア営業利益で表示しております。

① 日本

産業ガス関連の売上収益は、主力製品であるセパレートガス、炭酸ガス及びLPガスの出荷数量は減少しましたが、コスト上昇を背景とした販売価格の改定効果により、増収となりました。また、エレクトロニクス関連での電子材料ガスの出荷数量は軟調でした。機器・工事では、産業ガス関連、エレクトロニクス関連共に、中大型案件の進行基準による計上等により、増収となりました。一方、特定顧客向けにオンサイト供給を担う子会社のジョイント・オペレーション化による減収影響がありました。

以上の結果、日本セグメントの売上収益は、2,021億79百万円(前年同期比4.0%増加)、セグメント利益は、213億31百万円(同67.7%増加)となりました。

② 米国

産業ガス関連の売上収益は、主力製品であるセパレートガスの出荷数量は減少しましたが、コスト上昇等を背景とした販売価格の改定効果により、増収となりました。機器・工事では、産業ガス関連はガス関連機器を中心に好調であり、エレクトロニクス関連も順調に推移し、増収となりました。

以上の結果、米国セグメントの売上収益は、1,695億19百万円(前年同期比16.1%増加)、セグメント利益は、234億37百万円(同45.8%増加)となりました。なお、円安の影響で売上収益及びセグメント利益は多く表示されています。

③ 欧州

売上収益は、主力製品であるセパレートガスにおいては、出荷数量が減少したことに加え、エネルギー価格の落ち着きを背景とした販売価格の改定影響はあったものの、円安の影響もあり、増収となりました。機器・工事では、ガス関連機器及び医療関連機器の販売が好調で増収となりました。また、生産性向上の取組みによる寄与がありました。

以上の結果、欧州セグメントの売上収益は、1,473億81百万円(前年同期比8.1%増加)、セグメント利益は、263億63百万円(同65.7%増加)となりました。

④ アジア・オセアニア

産業ガス関連では、主力製品であるセパレートガスの出荷数量は減少しましたが、コスト上昇等を背景とした販売価格の改定効果により、売上収益は増加しました。なお、主に豪州地域での販売が多くを占めるLPガスでも、販売数量は減少しました。エレクトロニクス関連では、東アジアで、客先の稼働状況による在庫調整や設備投資の先送りに伴い、ガス・機器ともに軟調で大きく減収となりました。

以上の結果、アジア・オセアニアセグメントの売上収益は、781億14百万円（前年同期比 4.5%減少）、セグメント利益は、85億68百万円（同 4.2%減少）となりました。なお、円安の影響で売上収益及びセグメント利益は多く表示されています。

⑤ サーマス

日本では、スポーツボトル及びケータイマグの販売が好調で、売上収益は増加しました。また、海外での販売は軟調でした。セグメント利益は、物価上昇による原材料価格の上昇と円安による製造コストの増加で、大きく減益となりました。

以上の結果、サーマスセグメントの売上収益は、153億31百万円（前年同期比 1.1%増加）、セグメント利益は、28億68百万円（同 13.3%減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は2兆4,259億94百万円で、前連結会計年度末比で2,670億44百万円の増加となっております。為替の影響については、前連結会計年度末に比べ期末日レートが米ドルで16円5銭の円安、ユーロで12円28銭の円安となるなど、約1,592億円多く表示されております。

〔資産〕

流動資産は、現金及び現金同等物や営業債権の増加等により、前連結会計年度末比で1,330億24百万円増加し、6,600億98百万円となっております。

非流動資産は、有形固定資産やのれんの増加等により、前連結会計年度末比で1,340億20百万円増加し、1兆7,658億96百万円となっております。

〔負債〕

流動負債は、その他の流動負債の増加や営業債務の減少等により、前連結会計年度末比で100億90百万円増加し、4,352億47百万円となっております。

非流動負債は、社債及び借入金や繰延税金負債の増加等により、前連結会計年度末比で1,270億56百万円増加し、1兆1,028億52百万円となっております。

〔資本〕

資本は、在外営業活動体の換算差額や親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上による増加等により、前連結会計年度末比で1,298億97百万円増加し、8,878億94百万円となっております。

なお、親会社所有者帰属持分比率は35.2%で前連結会計年度末に比べ1.7ポイント高くなっております。

(キャッシュ・フローの分析)

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

税引前四半期利益、営業債務の増減額、棚卸資産の増減額等により、営業活動によるキャッシュ・フローは879億76百万円の収入（前年同期比 22.0%増加）となりました。

〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

有形固定資産の取得による支出等により、投資活動によるキャッシュ・フローは556億68百万円の支出（前年同期比 31.8%増加）となりました。

〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

社債の発行による収入、長期借入れによる収入、コマーシャル・ペーパーの純増減額等により、財務活動によるキャッシュ・フローは447億45百万円の収入（前年同期は254億48百万円の支出）となりました。

これらの結果に、為替換算差額等を加えた当第2四半期連結累計期間の現金及び現金同等物の四半期末残高は、2,170億77百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2023年10月31日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2023年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	132,217	217,077
営業債権	243,541	260,728
棚卸資産	97,612	108,649
その他の金融資産	22,479	25,718
その他の流動資産	26,152	32,189
小計	522,003	644,364
売却目的で保有する資産	5,070	15,734
流動資産合計	527,074	660,098
非流動資産		
有形固定資産	776,148	835,340
のれん	513,685	561,207
無形資産	242,334	254,156
持分法で会計処理されている投資	38,230	39,041
その他の金融資産	46,763	61,687
退職給付に係る資産	2,810	2,666
その他の非流動資産	8,461	8,284
繰延税金資産	3,442	3,511
非流動資産合計	1,631,875	1,765,896
資産合計	2,158,950	2,425,994

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2023年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務	128,197	120,596
社債及び借入金	140,540	135,019
未払法人所得税	16,191	18,975
その他の金融負債	102,119	105,144
引当金	284	260
その他の流動負債	37,824	52,606
小計	425,157	432,602
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	—	2,645
流動負債合計	425,157	435,247
非流動負債		
社債及び借入金	759,480	866,383
その他の金融負債	35,693	37,739
退職給付に係る負債	14,117	14,804
引当金	5,440	5,521
その他の非流動負債	20,364	20,778
繰延税金負債	140,700	157,625
非流動負債合計	975,796	1,102,852
負債合計	1,400,953	1,538,100
資本		
資本金	37,344	37,344
資本剰余金	51,610	51,316
自己株式	△233	△237
利益剰余金	537,867	577,893
その他の資本の構成要素	97,724	186,434
親会社の所有者に帰属する持分合計	724,314	852,751
非支配持分	33,682	35,142
資本合計	757,996	887,894
負債及び資本合計	2,158,950	2,425,994

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上収益	573,699	612,571
売上原価	△366,611	△364,586
売上総利益	207,088	247,985
販売費及び一般管理費	△152,456	△167,822
その他の営業収益	3,704	1,848
その他の営業費用	△5,558	△1,440
持分法による投資利益	1,093	1,005
営業利益	53,872	81,576
金融収益	2,392	2,571
金融費用	△6,623	△12,598
税引前四半期利益	49,641	71,549
法人所得税	△13,219	△21,110
四半期利益	36,422	50,438
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	35,149	48,547
非支配持分	1,272	1,890
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	81.22	112.16

要約四半期連結包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期利益	36,422	50,438
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 金融資産	△4,438	4,714
確定給付制度の再測定	19	6
持分法適用会社におけるその他の包括利益に 対する持分	△40	13
純損益に振り替えられることのない項目合計	△4,459	4,735
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	62,676	82,827
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変 動の有効部分	△884	525
持分法適用会社におけるその他の包括利益に 対する持分	2,138	1,434
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	63,930	84,787
税引後その他の包括利益合計	59,471	89,522
四半期包括利益	95,894	139,961
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	93,903	137,410
非支配持分	1,990	2,550

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金
2022年4月1日残高	37,344	55,945	△281	476,589
四半期利益	—	—	—	35,149
その他の包括利益	—	—	—	—
四半期包括利益	—	—	—	35,149
自己株式の取得	—	—	△2	—
自己株式の処分	—	—	53	—
配当	—	—	—	△7,787
支配継続子会社に対する 持分変動	—	△4,381	—	—
企業結合又は事業分離	—	—	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	—	617
連結範囲の変動	—	—	—	—
その他の増減	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	△4,381	51	△7,169
2022年9月30日残高	37,344	51,563	△230	504,569

その他の資本の構成要素

	在外営業活 動体の換算 差額	キャッシ ユ・プロ シ・ヘッジ の公正価値 の純変動の 有効部分	その他の包 括利益を通 じて公正価 値で測定す る金融資産	確定給付制 度の再測定	合計	親会社の所 有者に帰属 する持分 合計	非支配 持分	資本 合計
2022年4月1日残高	39,428	368	19,319	—	59,115	628,714	32,423	661,137
四半期利益	—	—	—	—	—	35,149	1,272	36,422
その他の包括利益	64,197	△875	△4,587	19	58,753	58,753	718	59,471
四半期包括利益	64,197	△875	△4,587	19	58,753	93,903	1,990	95,894
自己株式の取得	—	—	—	—	—	△2	—	△2
自己株式の処分	—	—	—	—	—	53	—	53
配当	—	—	—	—	—	△7,787	△572	△8,360
支配継続子会社に対する 持分変動	—	—	—	—	—	△4,381	△1,910	△6,292
企業結合又は事業分離	—	—	—	—	—	—	389	389
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	△598	△19	△617	—	—	—
連結範囲の変動	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の増減	—	—	—	—	—	—	186	186
所有者との取引額等合計	—	—	△598	△19	△617	△12,118	△1,906	△14,024
2022年9月30日残高	103,625	△507	14,132	—	117,251	710,499	32,507	743,006

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金
2023年4月1日残高	37,344	51,610	△233	537,867
四半期利益	—	—	—	48,547
その他の包括利益	—	—	—	—
四半期包括利益	—	—	—	48,547
自己株式の取得	—	—	△4	—
自己株式の処分	—	—	—	—
配当	—	—	—	△8,658
支配継続子会社に対する 持分変動	—	△294	—	—
企業結合又は事業分離	—	—	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	—	152
連結範囲の変動	—	—	—	△16
その他の増減	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	△294	△4	△8,521
2023年9月30日残高	37,344	51,316	△237	577,893

その他の資本の構成要素

	在外営業活 動体の換算 差額	キャッシ ュ・フロ ー・ヘッジ の公正価値 の純変動の 有効部分	その他の包 括利益を通 じて公正価 値で測定す る金融資産	確定給付制 度の再測定	合計	親会社の所 有者に帰属 する持分 合計	非支配 持分	資本 合計
2023年4月1日残高	81,172	△284	16,836	—	97,724	724,314	33,682	757,996
四半期利益	—	—	—	—	—	48,547	1,890	50,438
その他の包括利益	83,629	521	4,704	6	88,862	88,862	660	89,522
四半期包括利益	83,629	521	4,704	6	88,862	137,410	2,550	139,961
自己株式の取得	—	—	—	—	—	△4	—	△4
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—	—	—
配当	—	—	—	—	—	△8,658	△690	△9,348
支配継続子会社に対する 持分変動	—	—	—	—	—	△294	△264	△559
企業結合又は事業分離	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	△145	△6	△152	—	—	—
連結範囲の変動	—	—	—	—	—	△16	—	△16
その他の増減	—	—	—	—	—	—	△135	△135
所有者との取引額等合計	—	—	△145	△6	△152	△8,973	△1,090	△10,063
2023年9月30日残高	164,802	237	21,394	—	186,434	852,751	35,142	887,894

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	49,641	71,549
減価償却費及び償却費	52,030	54,832
受取利息及び受取配当金	△729	△1,699
支払利息	6,601	12,562
持分法による投資損益 (△は益)	△1,093	△1,005
有形固定資産及び無形資産除売却損益 (△は益)	△422	23
営業債権の増減額 (△は増加)	△6,234	△11,328
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△13,661	△7,193
営業債務の増減額 (△は減少)	4,733	△8,889
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△408	△166
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	568	477
その他	△3,052	1,139
小計	87,973	110,303
利息の受取額	180	1,152
配当金の受取額	1,017	3,265
利息の支払額	△6,099	△10,406
法人所得税の支払額又は還付額 (△は支払)	△10,948	△16,339
営業活動によるキャッシュ・フロー	72,122	87,976
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△42,616	△53,110
有形固定資産の売却による収入	1,626	607
投資の取得による支出	△1,633	△147
投資の売却及び償還による収入	1,415	431
子会社の取得による支出	△107	—
子会社の売却による収入	—	154
事業譲受による支出	—	△1,743
その他	△937	△1,861
投資活動によるキャッシュ・フロー	△42,252	△55,668

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	15,965	11,370
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	7,000	△26,000
長期借入れによる収入	1,232	33,650
長期借入金の返済による支出	△34,099	△57,745
社債の発行による収入	—	99,532
リース負債の返済による支出	△5,824	△6,598
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△1,989	△380
配当金の支払額	△7,787	△8,658
非支配持分への配当金の支払額	△572	△690
その他	627	264
財務活動によるキャッシュ・フロー	△25,448	44,745
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	2,896	8,414
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	7,318	85,468
現金及び現金同等物の期首残高	93,697	132,217
売却目的で保有する資産への振替に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	△609
現金及び現金同等物の四半期末残高	101,015	217,077

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。なお、報告にあたって事業セグメントの集約は行っていません。

当社グループは、鉄鋼、化学、エレクトロニクス産業向けなどに国内外でガス事業を行っており、主要製品に関しては、日本、米国、欧州、アジア・オセアニアの各地域において、それぞれ生産・販売体制を構築しております。また、ステンレス製魔法瓶など家庭用品の製造・販売などの事業も行っております。したがって、当社は、「日本」「米国」「欧州」「アジア・オセアニア」「サーモス」の5つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの主要な製品は、以下のとおりであります。

報告セグメント	主要な製品・サービス
日本	酸素、窒素、アルゴン、炭酸ガス、ヘリウム、水素、アセチレン、ガス関連機器、特殊ガス（電子材料ガス、純ガス等）、電子関連機器・工事、半導体製造装置、溶断機器、溶接材料、機械装置、LPガス・関連機器、医療用ガス（酸素、亜酸化窒素等）、医療機器、安定同位体
米国	
欧州	
アジア・オセアニア	
サーモス	

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している方法と同一であります。なお、セグメント間の内部売上収益又は振替高は、主に市場実勢価格に基づいております。

(2) 報告セグメントごとの売上収益及び損益の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	連結
	日本	米国	欧州	アジア・ オセアニア	サーモス	合計		
売上収益								
外部顧客への売上収益	194,406	145,961	136,308	81,803	15,169	573,649	50	573,699
セグメント間の内部 売上収益又は振替高	6,666	11,472	113	1,640	6	19,898	△19,898	—
計	201,073	157,433	136,421	83,444	15,175	593,548	△19,848	573,699
セグメント利益(注2)	12,721	16,072	15,908	8,943	3,309	56,954	△769	56,185

(注) 1. セグメント利益の調整額△769百万円には、セグメント間取引消去△113百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△655百万円が含まれております。全社費用等は、主に報告セグメントに配分していない当社におけるグループ管理費用であります。

2. セグメント利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益（事業撤退や縮小から生じる損失等）を除いて算出したコア営業利益で表示しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	連結
	日本	米国	欧州	アジア・ オセアニア	サーモス	合計		
売上収益								
外部顧客への売上収益	202,179	169,519	147,381	78,114	15,331	612,526	45	612,571
セグメント間の内部 売上収益又は振替高	6,982	12,229	205	1,489	8	20,915	△20,915	—
計	209,162	181,748	147,587	79,603	15,340	633,442	△20,870	612,571
セグメント利益(注2)	21,331	23,437	26,363	8,568	2,868	82,569	△920	81,648

(注) 1. セグメント利益の調整額△920百万円には、セグメント間取引消去△204百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△716百万円が含まれております。全社費用等は、主に報告セグメントに配分していない当社におけるグループ管理費用であります。

2. セグメント利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益(事業撤退や縮小から生じる損失等)を除いて算出したコア営業利益で表示しております。

セグメント利益から、税引前四半期利益への調整は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
セグメント利益	56,185	81,648
固定資産売却益	594	—
仲裁裁定に伴う損失	△3,502	—
その他	595	△72
営業利益	53,872	81,576
金融収益	2,392	2,571
金融費用	△6,623	△12,598
税引前四半期利益	49,641	71,549